

# 地域担当職員制について

- 地域担当職員制度とは

住民との対話・交流を通じ、地域課題の解決に住民の意向を反映させ、職員の意識をも住民本位に転換させることを目的に、職員を各地域の担当者として配属し、住民と共に地域課題の解決を図る制度をいう。

- 参考文献

一般財団法人 地方自治研究機構編「地域担当職員制度に関する調査研究」平成29年3月

HP : <http://www.rilg.or.jp/htdocs/004.html>、2020年3月5日参照

【現状の課題】

【制度の目的】

論点①【地域側意向】  
どの支援を特に必要とするか

縦割り行政  
(地域ワンストップ)

地域に対する支援

地域を  
「支える」

地域への協働・  
サポート不足

	支援種類	支援内容	スキルレベル
A	作業支援	祭りなど行事の手伝い等	平均的な自治体職員 で対応可
B	機能支援	役所への申請・届出代行等	
C	事務支援	会計事務などの支援	
D	運営支援	会議同席、ファシリテーション、公正な運営支援	ある程度の職務経験・ 知識、人間力(コミュニ ケーション能力・構想力等)
E	調整支援	各種団体の補助金・助成及び関係機関の紹介等	
F	政策支援	地域のビジョン策定や事業企画支援	

情報共有不十分  
(伝達・吸い上げ)

地域への情報提供・  
地域からの情報吸い上げ

地域の中を  
「つなぐ」

論点②【市側視点】  
地域の課題や情報交換、地域との協働を通して、地域の実情を把握するとともに地域課題解決経験によって人材育成を行う

職員が地域を  
知らない

職員育成(職務能力・協働意識)

エリアミーティング参加者から、来年度以降継続して地域ビジョン策定や実行において、どのようなサポートを求めるか意見聴取を行う